

望岳荘だより

平成 26 年

2 月 7 日

今年の冬は、例年になく積雪が少なく、雪下しもしないで済み、大いに助かりましたが、寒さは大変厳しいものがありました。

二月を迎え、立春を過ぎ、暦の上では春を迎えましたが、真冬並みの寒気が南下してきて、当地方ではまだまだ寒さが続きます。

それでも、晴れた日の日差しは強く、日も長くなってきました。確実に春は近づいてきています。

今、近隣の学校や保育所などではインフルエンザが流行していますが、当施設では今のところ罹った人は出ていません。

これも、ご家族の皆様方のご協力によるものであり、感謝を申し上げます。

しかし、インフルエンザのピークはこれからだとみられています。収束するまで、今しばらくの辛抱が必要です。



利用者のご家族からいただいた福寿草が、一足早く春を告げています。

一月誕生会を開催

一月に誕生日を迎えられた方の誕生会を、一月二十九日に開催しました。

今月の誕生者は九名いらっしゃいました。食堂で皆さんにご紹介し、誕生カードと花束のプレゼントの後、ハッピー・バースデーなどの歌を歌いお祝いをしました。

これからも皆さん、ご健康でお元気にお過ごしいただきたいと思えます。



記念写真とお祝いのメッセージが書かれた誕生カード、花束を贈られた1月生まれの皆さん。

鬼は外、福は内

—豆まきを行いました—

「鬼は外、福は内」。二月三日の節分の日、望岳荘でも「豆まき」を行いました。

節分とは、春夏秋冬の各季節の始まりの日の前日のことで、季節を分けることを意味します。この季節の分かれ目には、邪鬼（鬼）が生じると考えられており、豆まきはそれを追い払うための悪魔祓いの行事です。

豆は、「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることで邪鬼を追い払い、一年の無病息災を願うものです。

望岳荘では、豆まきに落花生を使用しましたが、一般的には炒った大豆を使用するそうです。これは旧年の厄を負って払い捨てたため、また豆から目が出てはいけないためだと言われています。

豆まきでは、昔からまかれた豆を自分の年齢（数え年）の数だけ食べる。また、自分の年の数よりひとつ余計に食べると体が丈夫になり、風邪をひかないと言われています。（さすがに、皆さんは自分の年の数だけ豆を食べられませんが…）

この日は、望岳荘に怖い顔をした「赤鬼」と「緑鬼」が現れましたが、利用者の皆さんが勢い良く投げつけられた豆に、すごすごと退散してしまいました。

邪鬼が追い払われた望岳荘は、皆さんが健康で、良い年になることでしょう。



望岳荘に悪いことをする鬼が現れ、威勢よく鬼退治をする利用者の皆さん。



年男年女の皆さん。昔から、その年の年男・年女の皆さんが豆まきをしました。

利用者の生活から

望岳荘では、利用者の皆さんが生活にメリハリをつけ、心豊かに生きがいを持って生活を送っていただくために、誕生会や季節の行事のほか、書道・俳句、手工芸、音楽、喫茶、フラワーアレンジメント、地域の皆さんとの交流会、外出などを行っています。一月から二月にかけて行った一部をご紹介します。

【書道】



上手に書けました。

【風船つき】



風船つきは楽しい！

【手工芸】



切り絵で雪だるまを作りました。

【喫茶】



あんまんや肉まん、甘酒、漬物などを美味しくいただきました。

職員研修

一月の職員研修は、緩和ケア認定看護師を招いて「看取り介護について」研修をしました。終末期を迎えた利用者の人間としての尊厳が保たれ、穏やかにその人らしく、安らかな最後を迎えていただくための緩和ケアや看護（介護）の実際等、大変ためになる研修でした。



最近のエンゼルメイクを含め、大変有意義な研修会でした。

行事のお知らせ【二月中旬～三月】

二月

- 十七日 理髪奉仕（美容）（午前）
 - 〃 ひな祭り（午後）
 - 二十日 音楽（音楽）
 - 二十一日 選択食（お昼）
 - 二十四日 喫茶（お昼）
 - 二十六日 誕生会（お昼）
- ### 三月
- 三日 ひな祭り（午後）
 - 四日 選択食（お昼）
 - 六日 手工芸（午後）
 - 十二日 リハビリ指導（午後）
 - 十四日 書道・俳句（午後）
 - 十七日 理髪奉仕（美容）（午前）
 - 十八日 彼岸供養（午後）
 - 十九日 誕生会（お昼）
 - 〃 バイキング食（お昼）
 - 二十四日 音楽（午後）
 - 二十五日 選択食（お昼）

お知らせ

☆利用料の引き落としについて

二月二十日（木）に引き落としを予定しています。通帳の写しは二月六日現在です。残高のご確認をお願いします。

☆面会について（お願い）

感染性胃腸炎ノロウイルスは、全国的に大流行し、亡くなる方も出ています。

また、インフルエンザは、近隣の学校や保育園等でも発生し、学級閉鎖や学年閉鎖をすることも多く出ています。

特に、十四歳以下の子どもは集団生活が多く、免疫力が弱いため感染者が多く、患者の約七割を占めているそうです。

長野県は、今月の五日に県内全域にインフルエンザ警報を発令しました。厳重な警戒が必要です。

面会ではできるだけ控えていただき、もし体調がおかしいなと思った時には、面会をご遠慮いただきますようお願いいたします。

また、面会時には手指消毒とマスクの着用を確実にお願いいたします。